



2024 年 6 月 3 日

報道各位

**優れたクリエイティブを表彰する日本最大級のアワード
「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
本日 6 月 3 日よりエントリー受付開始**

一般社団法人 ACC（英文名：All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長：小郷 三朗）は、あらゆる領域のクリエイティブを対象としたアワード「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」（URL：<https://www.acc-awards.com/>）のエントリー受付を、本日 2024 年 6 月 3 日（月）より開始いたします。

応募部門は、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ラジオ & オーディオ広告部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランDED・コミュニケーション部門、PR 部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の全 9 部門です。



エントリー期間は、2024 年 6 月 3 日（月）～7 月 1 日（月）18 時まで。作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

各部門の ACC グランプリ他全入賞作品は 2024 年 10 月末頃に特設サイトにて発表、12 月 6 日（金）の贈賞式にて表彰いたします。

また、審査委員による講評や、「ACC YOUNG CREATIVITY COMPETITION（ACC ヤングコンペ）」等の配信イベントは、12 月 2 日（月）～4 日（水）に生配信で公開予定です。



「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業や団体、クリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、更なる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

なお、各部門の審査委員や応募要項など、詳細は以下の通りです。

「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

【エントリー期間】

2024年6月3日（月）～7月1日（月）18時

- ・前期料金対象期間：6月3日（月）～6月17日（月）23時59分までにエントリー完了分
- ・後期料金対象期間：6月18日（火）～7月1日（月）18時までにエントリー完了分

【部門構成および参加資格】

■フィルム部門

- ・A カテゴリー（テレビCM、地域テレビCM）

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

- ・B カテゴリー（Online Film）

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2024fes/film>）をご確認ください。

■フィルムクラフト部門

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に公開されている動画。初公開日は問わない。

※過去に応募された作品は除く。

※サブカテゴリーの設定があります。

詳細は応募要項（https://www.acc-awards.com/2024fes/film_craft/）をご確認ください。

■ラジオ & オーディオ広告部門

- ・A カテゴリー（ラジオCM、地域ラジオCM）

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

・ B カテゴリー（オーディオエグゼキューション）

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に日本国内で公開・実施された、音声広告や音声を使用したコンテンツ、エグゼキューション、サービス、プロダクト。

詳細は応募要項（https://www.acc-awards.com/2024fes/radio_audio/）をご確認ください。

■マーケティング・エフェクティブネス部門

2023年7月1日～2024年6月30日の間に、テレビCM、ラジオCM、新聞・雑誌、Web、イベント等で展開されたキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

<サブカテゴリー> エントリーの際に、以下A・Bのいずれかをご選択ください。

A：ショートターム・エフェクティブネス

単年度のマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、成果をあげたキャンペーンを評価します。

B：ロングターム・エフェクティブネス

複数年にわたって持続性のあるマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、生活者とのエンゲージを深め、今年その成果をさらに向上させたキャンペーンを評価します。

※サブカテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2024fes/me/>）をご確認ください。

■ブランデッド・コミュニケーション部門

2023年6月1日～2024年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション（広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ）。

※2023年6月1日～2023年6月30日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※複数カテゴリーへの応募は可能です。

・ A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス

デジタルテクノロジーを活用した表現における卓越したデザインと優れたユーザーエクスペリエンス、クリエイティビティとクラフトマンシップを表彰します。

・ B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しく創造的なアイデアを表彰します。

・C カテゴリー：ソーシャル・インフルーエンス

ブランドのために創られた、ソーシャルメディアやデジタル上のコンテンツの優れたクリエイティビティや美しい設計、その拡散力を表彰します。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2024fes/bc/>) をご確認ください。

■PR 部門

2023年6月1日～2024年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたPR活動（コーポレートPR、マーケティングPR、ソーシャルキャンペーン、パブリックアフェアーズ、リスクマネジメント、CSR活動／SDGs活動、インナーコミュニケーション、地域創生等）。

※過去にエントリーした作品でも継続中のPR活動であれば、応募可能です。ただし、過去にエントリーした際から「クリエイティビティ」という観点の新たなチャレンジや「成果」の違いを明確に示してください。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2024fes/pr/>) をご確認ください。

■デザイン部門

2023年6月1日～2024年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたデザイン。

※2023年6月1日～2023年6月30日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※コンセプトやプロトタイプは応募不可です。

<審査対象カテゴリー>

1. ブランドデザイン分野（ブランディングや広告に関するコミュニケーションのデザイン）
2. エクスペリエンスデザイン分野（サービスやUI/UX、インスタレーションのデザイン）
3. ソーシャルデザイン分野（地域や社会の課題解決など、未来に向けてのデザイン）
4. プロダクトデザイン分野（プロダクトやパッケージなど製品に関するデザイン）
5. スペースデザイン分野（空間や施設、建築など場に関するデザイン）

※審査対象カテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2024fes/design/>) をご確認ください。

■メディアクリエイティブ部門

2023年6月1日～2024年6月30日の期間に実施された（放送・出稿等された）、メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。

※2023年6月1日～2023年6月30日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件です。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2024fes/mc/>) をご確認ください。

■クリエイティブイノベーション部門

「ビッグアイデア×テクノロジー」

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスとプロトタイプ。

- ①企業の新規プロジェクト
- ②創造性の高いスタートアップ
- ③クラウドファンディングや研究機関等のプロトタイプ
- ④地方や団体での新しいビジネス

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。

※昨年エントリーしたものでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2024fes/ci/>) をご確認ください。

【審査委員長】

※詳細は、別添の資料でもご覧いただけます。

※5月7日の発表以降、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ブランデッド・コミュニケーション部門において、審査委員が追加決定いたしました。

■フィルム部門 ※新任

福部 明浩 (catch/クリエイティブディレクター、コピーライター)

■フィルムクラフト部門 ※新任

柳沢 翔 (伊達事務所/ディレクター)

■ラジオ & オーディオ広告部門 ※新任

中山 佐知子 (ランダムハウス/コピーライター、ディレクター)

■マーケティング・エフェクティブネス部門 ※新任

松村 真依子 (日産自動車/日本マーケティング本部 ブランド & メディア戦略部 シニアマネージャー)

■ブランデッド・コミュニケーション部門

尾上 永晃 (電通/フューチャークリエイティブリード室 プランナー・クリエイティブディレクター)

■PR 部門

眞野 昌子 (日本マクドナルド/広報部・インターナルコミュニケーション部 部長)

■デザイン部門 ※新任

川村 真司 (Whatever/Chief Creative Officer、Co-Founder
Open Medical Lab/Chief Creative Officer)



■メディアクリエイティブ部門 ※新任
檜原 麻希 (ニッポン放送/代表取締役社長)

■クリエイティブイノベーション部門 ※新任
木寄 綾奈 (NewsPicks Studios/取締役、Executive producer)

<各部門の審査委員長メッセージ>

<https://www.acc-awards.com/juries2024/>

<各部門の審査委員一覧>

資料1「各部門 審査委員一覧」をご参照ください。

【コラボレーション】

gettyimages®

BRANDED
SHORTS

■「ゲッティイメージズ」

マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR 部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の各応募資料に、ゲッティイメージズの画像素材を無料で使用することができます。

<ゲッティイメージズご利用案内>

<https://www.acc-awards.com/other/gettyimages/>

■「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」

フィルム部門 B カテゴリー (オンラインフィルム) では、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」BRANDED SHORTS 部門 (<https://brandedshorts.jp/about/>) とのコラボレーションを実施。ACC ファイナリスト以上に入賞した作品は、エントリーフィー無料で同部門への応募が可能となります。



【ロゴ、トロフィー】



< 「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」 特設サイト >

URL : <https://www.acc-awards.com/>

< 主催：一般社団法人 ACC >

URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催する広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、ACC グランプリはクリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に活動を開始しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>

一般社団法人 ACC 担当：平川



「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

資料 1

各部門 審査委員一覧

(敬称略、審査委員は五十音順)

※5月7日の発表以降、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ブランデッド・コミュニケーション部門において
太字・下線の方が追加決定いたしました。

■フィルム部門

審査委員長 ※新任

福部 明浩 (catch/クリエイティブディレクター、コピーライター)

審査委員

姉川 伊織 (電通/コピーライター、CMプランナー)

有元 沙矢香 (電通/クリエイティブディレクター、コピーライター)

大石 将平 (TBWA\HAKUHODO/クリエイティブディレクター、コピーライター)

太田 郁子 (アクセント/マネジング・ディレクター)

太田 麻衣子 (博報堂 執行役員/博報堂クリエイティブボックス エグゼクティブクリエイティブディレクター)

尾形 真理子 (Tang/クリエイティブディレクター、コピーライター)

尾上 永晃 (電通/プランナー、クリエイティブディレクター)

北 恭子 (電通/コピーライター、コミュニケーションデザイナー)

栗林 和明 (CHOCOLATE/取締役、チーフコンテンツオフィサー)

小山 佳奈 (上田家/コピーライター)

是枝 裕和 (映画監督)

杉山 芽衣 (博報堂/アクティベーションディレクター)

花田 礼 (電通/プランナー)

福里 真一 (ワンスカイ/クリエイティブディレクター、CMプランナー、コピーライター)

古川 裕也 (古川裕也事務所/代表、クリエイティブ・ディレクター)

村田 俊平 (電通/CMプランナー)

以上

■フィルムクラフト部門

審査委員長 ※新任

柳沢 翔 (伊達事務所/ディレクター)

審査委員 ※1名追加予定

今村 圭佑 (撮影監督)

上野 千蔵 (撮影監督)

岡村 良憲 (シネマトグラファー)

OSRIN (PERIMETRON/映像作家、Art Director)

菅野 よう子 (作編曲家、プロデューサー)

児玉 裕一 (vivision 映像ディレクター/CANADA LONDON)

小林 大介 (パルコ/プロデューサー、執行役員)

小林 浩康 (カラー、プロジェクトスタジオ Q/CGアニメ監督、デザイナー)

高野 水登 (クイーンビー/脚本家)



田中 秀幸 (フレームグラフィックス/代表)
辻川 幸一郎 (GLASSLOFT/映像監督)
津本 栄憲 (MEMEX/取締役、Creative Producer)
長久 允 (電通/映画監督、脚本家)
林 響太郎 (映像監督、写真家)
藤岡 将史 (Think & Craft/プロデューサー)

ほかご依頼中

■ラジオ&オーディオ広告部門

審査委員長 ※新任

中山 佐知子 (ランダムハウス/コピーライター、ディレクター)

審査委員

大谷 恭代 (J-WAVE/デジタル戦略局ビジネス企画部マネジャー)
久間 恵子 (博報堂クリエイティブ・ヴォックス/コピーライター、クリエイティブディレクター)
黒沢 かずこ (吉本興業/お笑い芸人)
櫻井 瞭 (ドリル/CMプランナー、構成作家)
澤本 嘉光 (dentsu Japan/
グロースオフィサー エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター、CMプランナー、脚本家)
しまおまほ (文筆業)
谷 道忠 (ヒットコーポレーション/プロデューサー)
中村 直史 (五島列島なかむらただし社/クリエイティブディレクター、コピーライター)
野田 絵美 (博報堂DYメディアパートナーズ/メディア環境研究所 上席研究員)
林 尚司 (電通/クリエイティブ・ディレクター)
古川 雅之 (電通 (Creative KANSAI) /クリエイティブ・ディレクター、CMプランナー、コピーライター)
吉岡 由祐 (大広/クリエイティブディレクター、CMプランナー、コピーライター)

以上

■マーケティング・エフェクティブネス部門

審査委員長 ※新任

松村 眞依子 (日産自動車/日本マーケティング本部 ブランド&メディア戦略部 シニアマネージャー)

審査委員

加藤 倫子 (電通/コミュニケーションプランナー、PRプランナー)
川崎 鋼平 (LIFULL/執行役員 CCO、LIFULL HOME'S CMO)
坂井 嘉裕 (サイバーエージェント/インターネット広告事業本部 統括)
楯 美和子 (ローソン/常務執行役員、コミュニケーション本部長兼広報部長)
中川 悠 (博報堂/クリエイティブ局 エグゼクティブクリエイティブディレクター、ストラテジスト)
萩原 幸也 (リクルート/クリエイティブディレクター、部長)
馬場 直也 (サントリー/コミュニケーション本部 CRM・DX 推進部長)
藤本 修二 (東急エージェンシー/クリエイティブソリューション局 局長、クリエイティブディレクター)
古市 丈二 (ロッテ/マーケティング本部ブランド戦略部部長)
細川 万理 (ADK マーケティング・ソリューションズ/クリエイティブ・ディレクター、コピーライター)

以上



■ブランデッド・コミュニケーション部門

審査委員長

尾上 永晃（電通／フューチャークリエイティブリード室 プランナー・クリエイティブディレクター）

審査委員

市川 晴華（CHOCOLATE／プランナー、クリエイティブディレクター）

宇佐美 雅俊（TBWA\HAKUHODO／Senior Creative Director）

片岡 良子（CHERRY／コピーライター）

木下 舞耶（TBWA\Media Arts Lab Tokyo／クリエイティブディレクター）

栗林 和明（CHOCOLATE／取締役、チーフコンテンツオフィサー）

小暮 菜月（博報堂／チーフアートディレクター）

佐藤 雄介（電通／クリエイティブディレクター、CM プランナー）

嶋野 裕介（電通／クリエイティブディレクター、ブランディングディレクター）

菅野 薫（（つづく）／Creative Director、Creative Technologist）

多々良 樹（電通／プランナー、コピーライター）

富永 久美（Meta／Head of Creative Shop, Japan）

畑中 翔太（dea クリエイティブディレクター／BABEL LABEL 企画プロデューサー、脚本家）

舟崎 彩乃（ミックスゾーン／制作部ディレクター）

三浦 崇宏（The Breakthrough Company GO／代表取締役 CEO）

明円 卓（kakeru／クリエイティブディレクター）

龍崎 翔子（水星／代表取締役）

以上

■PR 部門

審査委員長

眞野 昌子（日本マクドナルド／広報部・インターナルコミュニケーション部 部長）

審査委員

青崎 曹（マテリアル 代表取締役社長／マテリアルグループ 代表取締役 CEO）

工藤 里紗（テレビ東京／制作局 クリエイティブ開発チーム 部長）

小林 大地（The Breakthrough Company GO／Creative Director）

佐久間 智之（PRDESIGN JAPAN／代表取締役）

嶋 浩一郎（博報堂 執行役員／博報堂ケトル 取締役 クリエイティブディレクター）

高橋 万見子（朝日新聞社／SDGs ACTION!創刊編集長）

財田 恵里（博報堂／PR ディレクター、戦略クリエイティブディレクター）

楯 美和子（ローソン／常務執行役員、コミュニケーション本部長兼広報部長）

橋本 しおり（ベクトルグループ プラチナム／PR ディレクター）

細川 美和子（（つづく）／CREATIVE DIRECTOR、COPY WRITER）

松尾 雄介（電通 PR コンサルティング／PR プロデューサー、プランナー）

松田 崇弥（ヘラルボニー／代表取締役 Co-CEO）

松本 理永（サニーサイドアップ／取締役）

以上



■デザイン部門

審査委員長 ※新任

川村 真司 (Whatever/Chief Creative Officer、Co-Founder
Open Medical Lab/Chief Creative Officer)

審査委員

黒田 英邦 (コクヨ/代表執行役社長)

佐藤 ねじ (ブルーパドル/クリエイティブディレクター、プランナー)

鈴木 雅子 (SIX/Creative Director、Director)

武部 貴則 (横浜市立大学/先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター長)

戸村 朝子 (ソニーグループ/コーポレートテクノロジー戦略部門 コンテンツ技術&アライアンスグループ 統括部長)

原田 祐馬 (UMA/design farm 代表/どく社 共同代表)

朴 正義 (バスキュール/代表取締役、クリエイティブディレクター)

ムラカミ カイエ (SIMONE/代表取締役、CREATIVE DIRECTOR)

ライラ・カセム (シブヤフォント/アートディレクター)

以上

■メディアクリエイティブ部門

審査委員長 ※新任

檜原 麻希 (ニッポン放送/代表取締役社長)

審査委員

今江 元紀 (FM802/802 編成部長)

内山 聖子 (テレビ朝日/取締役)

加藤 純子 (出光興産/広報部長)

久保 泰博 (ADK マーケティング・ソリューションズ/

EX デザイン本部 パーティカル CR プランニンググループ シニア・コミュニケーション・ディレクター)

阪部 真希 (電通/出版ビジネス・プロデュース局 出版業務推進部 部長)

高橋 利之 (日本テレビ放送網/執行役員、コンテンツ制作局専門局長/総合演出 (兼) 営業局)

中村 全信 (Google Japan/Senior Marketing Manager、YouTube Ads)

松島 有輝 (博報堂 DY メディアパートナーズ/

コンテンツクリエイティブ局 企画クリエイティブグループ グループマネージャー)

望月 省二 (アサヒビール/理事 マーケティング本部 コミュニケーションデザイン部 部長)

リュウ シーチャウ (サニーサイドアップ/代表取締役社長)

以上

■クリエイティブイノベーション部門

審査委員長 ※新任

木嵯 綾奈 (NewsPicks Studios/取締役、Executive producer)

審査委員

石井 芳明 (経済産業省 大臣官房参事/中小企業基盤整備機構 審議役)

小池 藍 (THE CREATIVE FUND, LLP/代表パートナー)



一般社団法人 ACC
(All Japan Confederation of Creativity)

小布施 典孝 (dentsu japan / グロースオフィサー、Future Creative センター長、Executive Creative Director)

柴田 陽子 (ブランドプロデューサー / 柴田陽子事務所 代表取締役 / BORDERS at BALCONY 代表取締役)

中馬 和彦 (KDDI / オープンイノベーション推進本部 本部長)

天島 カルナ (博報堂 / アートディレクター)

夫馬 賢治 (ニューラル / CEO、ESG アドバイザー)

坊垣 佳奈 (マクアケ / 共同創業者、取締役)

松本 紗代子 (キンドリルジャパン /

専務執行役員 プラクティス事業本部長 兼 インクルージョン・ダイバーシティ & エクイティ担当)

村田 祐介 (インキュベイトファンド / 代表パートナー)

MEGUMI (俳優、プロデューサー、経営者)

以上

各審査委員のプロフィール等詳細につきましては、特設サイトよりご覧いただけます。

■ <https://www.acc-awards.com/juries2024/>